

単元名 かん字の はなし

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) 第1学年に配当されている漢字を読み，漸次書き，文や文章の中で使うことができる。
 (2) 語と語との続き方に注意しながら，内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。
 (3) 漢字の成り立ちに興味をもち，漢字を使った短い文を書こうとする。

標準的な展開例

01010210_001

【教材名】かん字の はなし (下 P.24～P.27)

【準備等】絵文字カード

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 教材文を読み，漢字の成り立ちを知る。</p> <p>★漢字を覚えて，楽しく使おう。</p> <p>○教科書 (P.24～25) の教材文を読み，絵からできた漢字について読み取る。</p> <p>○絵と漢字を見比べ，絵から漢字ができていることを理解する。</p> <p>3～4 漢字の書き順を理解して，練習する。</p> <p>○「山」について正しい筆順を知る。</p> <p>○1画ずつ書く。</p> <p>○他の漢字も同様に書く。</p> <p>○絵を漢字に直して，ノートに書く。</p> <p>○筆順リレーをして，学習した漢字を書く。</p> <p>5～6 習った漢字で短文を作り，読んだり書いたりする。</p> <p>○教科書 (P.26～27) の絵を言葉に直しながら，声に出して読む。</p> <p>○教科書 (P.26～27) の絵を言葉に直して，文を視写する。</p> <p>○絵文字カードを見て，文作りをする。</p> <p>○作った文を発表し，みんなで読み，学習を振り返る。</p>	<p>・黒板に絵文字カードを貼り，それぞれどう読むかを予想させる。</p> <p>・表意文字であることを意識させる。</p> <p>【評】絵と漢字を対応させる活動を通して，漢字の成り立ちに興味をもつ「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・1画ずつ「1，2，・・・」と声に出しながら，児童と一緒に空書きをする。</p> <p>・色チョークで，1画ずつ色を変えながら，板書する。その際に，1画目の色は赤，2画目の色は青等，常に同じ色を使用するようにする。</p> <p>・書く順番に色を決めて並ばせ，黒板に1画ずつ書くリレーを行わせる。</p> <p>【評】視写する活動を通して，第1学年に配当されている漢字を読み書きし，文や文章の中で使う「知識・技能」を評価する。</p> <p>・習った漢字の絵文字カードを用意しておき，絵を見ながら文作りをさせる。</p> <p>【評】文作りの活動を通して，語と語の続き方に注意しながら書く「思考・判断・表現」と漢字を使った短い文を書こうとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】